

日 時：平成 14 年 3 月 24 日（日） 12：40～13：50

場 所：聖路加国際病院礼拝堂 5 階研修室 B

出席者：大竹惟司、関武矩、遠藤、馬渡、中島、田島、内田恵美子、関敦子、江沢、若林、
内田研吾、大西信一、小川、大西礼子
井原司祭

配 布：聖路加国際病院礼拝堂聖歌隊名簿（2002 年 3 月 24 日現在）

配布資料：2001 年度聖ルカ聖歌隊会計報告（A）、2001 年度企画委員報告（B）

あいさつ（内田研吾氏）、開会のお祈り（大西氏）、食前の感謝（井原司祭）に続き、内田研吾の司会で議事に入った。

1. 隊長および各委員から前年度総括と今年度方針などについて

1) 隊長：大竹惟司氏

- ・ 年度の途中で隊長職を引き継いだ、音楽的にレベルを落とさぬように、さらにはレベルアップを、と考へて進めてきた。会衆から当日のアンセムに対して「良かった」との感想をいただくこともあった。他教会から歌いにきてほしいと言われるようなクワイヤーをめざしたい。
- ・ 副隊長を決めてほしいとの要望が一部から寄せられたが、保留とさせてほしい。私に事あるときは、関名誉隊長にお願いしたい。

2) 財務：内田研吾氏

〔配布資料 A による会計報告〕

- ・ 今年度隊費は 1 月から徴収を開始している。未払いの人も合宿前には納めてほしい。

3) 備品管理：馬渡氏

- ・ 楽譜管理の現状は、現在、3 階のクワイヤールーム内のキャビネットおよびプラスチックボックスに保管されており、礼拝と練習の前に持ち出している。
- ・ 将来的には、まず楽譜の棚卸をし、フォーマットを定め、全楽譜の目録をコンピュータ入力し、所蔵目録を作成したい。（オルガン委員会がパソコンを持っているが貸してもらえるか。聖歌隊所有のパソコンがほしい）
- ・ 楽譜の貸出しノートを紛失したため、新しい方法を考えたい。
- ・ 不足や破損している楽譜の補充をしたい。すでに一部の楽譜については、書き直し始めている。

★楽譜への書き込みに関して質問があり、意見交換した。結論として、

- ① 楽譜は聖歌隊の財産であるから、書き込みはしない。どうしても書き込んでおきたい情報がある場合は、自分でコピーを取り、それに書き込む。
 - ② 原則として①であるが、合宿の際など、多数の曲を歌う場合は鉛筆での書き込みを認める。ただし、終了後必ず消して戻す。
- ・ なお、ガウンの管理は生井氏が担当し、クリーニングは玉木氏が手配している。

4) 企画：内田恵美子氏

[配布資料Bによる報告]

- ・ 会議の際やクリスマスの夕食などの食事手配（数が少ないため配達をしてもらえない、衛生上の心配がある）、合宿の際の宿泊地振り分け（聖路加ハウスと恵みシャレー）に苦勞した。レクイエム後の食事場所は、時間的な問題からも今年度も昨年と同じ聖路加タワーの店を考えている。
- ・ 前回の総会で提案した他教会訪問は、諸々の事情により保留となっているが、新たに玉木氏その他から、トイスラーホールなどを使用して教会内コンサートを開くことを提案されている。合宿の成果を発表する機会としても、前向きに検討したい。
- ・ 1年やってみて、企画と渉外は常に連携を取る必要があり、係を分ける必要性はないと考えるが、どうであろうか。→了承され、今年度は一本化する。

5) 礼拝：大西信一氏

- ・ 聖歌隊の現状報告

- ① 現在隊員人数 25 名（うち受聖餐者 22 名）。今年度受洗者 1 名。（小川亜紀子さん）
- ② 主日礼拝での奉唱 27 回、他にイブ礼拝。参加者平均は 16.8 名。
- ③ 口語の聖歌隊特祷が新たに作られ、礼拝や練習の開始時に隊員が声を揃えてお祈りするようになった。
- ④ 礼拝や練習の連絡を電子メール（アドレスのない 2 名に対しては電話等）にて都度行なっている。礼拝に欠席する場合は前もって通知するように前回の総会でお願いしたが、励行する人、しない人さまざまである。

- ・ その他報告

- ① 聖路加ホームページは毎月第 1 週に更新している。アンセムの解説を載せているので見てほしい。このページを見て、聖歌隊参加に受洗は必要かなどの問い合わせメールが寄せられている。
- ② 改訂古今聖歌集試用版が出て、当礼拝堂でも使い始めているが、本格版の改訂聖歌集は 2006 年に出版予定である。昨年 9 月に「なぜ聖歌集を改訂するのか」に関する研修会が開かれて出席した。（関氏、大西信一）なお、第 4 週礼拝後に行なっている試用版の練習は、オルガニストとの話し合いに基づくものである。
- ③ 合宿でわずかな時間とはいえ、礼拝に関する勉強ができたことは喜ばしい。
- ④ 昨年のイブ礼拝において使用された礼拝式文は、井原司祭、大竹隊長との話し合いの中で作成されたものである。
- ⑤ 礼拝における聖歌隊の役割や、会衆やオルガニストとの関係などを、今後も考えていきたい。

6) 広報：大西礼子

[名簿配布。チェック]

- ・ 聖歌隊総会の議事録や合宿記録などをファイルして聖歌隊席奥の棚に保管し、情報公開という観点で、自由に閲覧してもらうことにしたが、その旨を周知していなかった。
- ・ 内外への広報は、現状では大西信一氏のホームページが役割を担っている。

2. 今年度の委員に関して

- ・ 去年の総会で決まった委員の任期は、1年と定められていたが、この場において続投を希望する声上がり、同意多数で留任となった。(企画と渉外は一本化して、内田恵美子氏と玉木氏を委員とする。)
- ・ 田島氏から楽譜管理を手伝いたいとの申し出があったので、係に加わってもらうことにした。

3. フリートークキング

- ・ 今年度の合宿は新装の聖路加ハウスでできるのか？
→現在建設中。合宿の時期には完成し、使える状況であるはずのため、玉木氏サイドで予約を入れている。ただし、部屋割り、備品など不明の点も多いので、結論は出ていない。なお、今年度の合宿期間は金曜日から日曜礼拝後までとする。
- ・ 合宿後にコンサートを行ない、合宿の成果をおきかせしたい。(遠藤氏)
- ・ 唱詠晩祷とコンサートを合わせた形のをクリスマス前に実施したい。(大竹惟司氏)
- ・ 日曜日礼拝後に合宿時のコンサートの曲を数曲披露するのはどうか。(大西信一氏)
- ・ トイスラーホールで入院患者やその家族・お見舞者を対象にコンサートをしたらどうか。(内田恵美子氏)
- ・ 試用版の聖歌を紹介するという趣旨で、数曲選び、主日会衆の前で歌ったらどうか。(江沢氏)
- ・ 現在礼拝では金曜日の練習に出た人と出なかった人のジョイントの形で奉唱している。歌唱上の注意点を確認し、声出しをする意味で、礼拝の前に集まって1回はアンセムを歌いたい。こうすれば、少なくとも練習している人としていない人とのミックスによる失敗は避けられるのではないか。(江沢氏、若林氏、遠藤氏)
→隊長了解。4月よりトイスラーホールで10時集合とする。

(以上 記録：大西礼子)